



今年度の“学び”を披露 公民館まつりを開催

八日市場公民館で2月1日・2日の両日、公民館が主催する各種講座やサークル活動などの1年間の成果を発表する「第15回公民館まつり」が行われました。

同館の各部屋からエントランスホール、図書館施設までを会場に、陶芸や書道など多くの作品を展示。その他、七宝焼きやフラワーアレンジメント、茶道などさまざまな体験も実施されました。また、民謡や歌謡、ダンスなどの発表も行われ、2日間を通して大きな盛り上がりを見せました。



① 1年間の練習成果を披露（寿大学の民謡発表） ② 落ち着いた雰囲気です茶が振る舞われた（茶道体験） ③ 慎重に丁寧に（アメリカンフラワー体験）

3度目の全国挑戦

ソフトテニス 八日市場小・富永さん

八日市場小学校5年の富永紗妃さん（八日市場木）が、全国小学生ソフトテニス大会への出場を決めました。

ふれあいジュニアクラブに所属する富永さんは、昨年10月の県予選会に、同クラブの越川陽花さん（東陽小学校）とペアを組みダブルス5年生の部に出場。準優勝に輝き、全国大会への切符を手に入れました。

富永さんは一昨年、昨年も4年生以下の部で同大会に出場しており、今回で3年連続の全国挑戦。「前衛としての仕事をしっかりできるように頑張ります」と意気込みを語りました。

なお、大会は、3月29日～31日に白子町・サニーテニスコートで開催されます。



全国大会に出場する富永さん（右）と、ダブルスでペアを組む越川さん（写真は富永さん提供）



号砲とともに一斉スタート(女子中学校)

新年の“走り初め”

健康マラソン大会で515人が健脚競う

第47回匝瑳市健康マラソン大会が1月19日、野栄中学校周辺をコースとして開催されました。

これは誰もが気軽に参加できるスポーツとして、毎年行われているもので、今回は、親子や小学生から一般までの全24部門、延べ515人が参加。新年の“走り初め”として号砲に合わせスタートしたランナーたちは、元氣よくコースを駆け抜け、健脚を競いました。

各部門上位の結果は、本紙9ページで紹介しています。



地域に息づく伝統

1月から2月にかけて行われた、各地区の伝統行事を紹介します。



1. 小高の裸参り (1月12日) 下帯一本姿の男衆が冬の夜に水ごりをする“真冬の奇祭”。参加者たちは「エイサ、オイサ」という掛け声で氣勢を上げた後、手桶で冷水をすくい豪快に何度もかぶりました。

2. 時曾根の大蛇まつり (2月8日) 持ち寄ったわらで長さ3m、太さ20cmにもなる大蛇を3匹編み上げます。それぞれの大蛇は、時曾根集落の三方の入り口につるし、疫病退散が祈願されました。

3. ひげなで三杯 (1月15日) 今泉・稲生神社の新旧氏子同士が酒を競って飲み合います。ひげをなでる仕草が次の酒を要求する合図で氏子たちは杯につがれた酒を順々に飲み干しました。

4. 松峰神社の御奉射 (2月9日) 飯塚・松峰神社の御奉射行事。「鶴」と「亀」をかたどった大きなしんご餅が用いられ、1年間当番を務めた区に亀を、当番を受ける区には鶴が引き渡されました。

5. 仁組獅子舞 (1月12日) 大人2人で操る獅子が、栢田・仁組集落の各戸を回り悪疫を払います。獅子が華麗な舞を披露した後、訪問を受けた家の人たちは自分の体をかんでもらい健康と幸せを祈りました。